

第369号 平成31年3月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7146

第60回東京都農業委員会・農業者大会開く

都農業会議と農業委員会地区協議会・連合会は2月22日(金)に「第60回東京都農業委員会・農業者大会」を昭島市KOTORIホールにおいて開き、都内の農業委員や農地利用最適化推進委員、農業者など約800人が参加しました。

主催者を代表して挨拶した農業会議の青山会長は、農業委員会系統組織の活動がますます重要になっていると



主催者あいさつをする青山会長

大会には都や都議会、関係組織から来賓が多数出席しました。都を代表して祝辞を述べた小池都知事は、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの農産物の提供など協力を呼びかけ、都としてもGAP取得などへの支援を充実させていくと話しました。協議では、国への要望とし



小池東京都知事は農業者に2020東京オリンピック・パラリンピックへの協力を呼びかけた

て、農地の保全と利用促進に向けた積極的な活動を提起しました。

「東京農業の確立に関する要望」ならびに「都市農業の振興と都市農地保全に関する要望」が決定されました。また、重点的に取り組むべき活動を申し合わせる

「農業委員会活動の積極的推進に関する決議」が決定されました(要望は3ページ、決議は2ページに要旨を掲載)。後半は記念行事として、第

平成31年度事業計画・予算 東京都農業施策に関する意見など決定

第124回東京都農業会議通常総会

都農業会議は3月19日に中野サンプラザで第124回通常総会を開き、2018年度収支予算の補正、2019年度における事業計画および収



事業計画や予算などを協議した

支予算、会費の金額、納入の時期および方法、借入金最高限度額および預入先金融機関の6議案を提案し承認可決するとともに、農業委員会法第53条に基づく「2020年度東京都農業施策に関する意見」を決定しました。協議事項では大会決議に基づく「2019年度農業委員会活動推進要領」(2面)を決定するとともに、当面の農政問題では農地中間管理事業法改正の動向や新しい都市農地制度について説明しました。



農業委員・農地利用最適化推進委員など800人が参加した

あぜみち

商品となる農産物を生産する農業者の話は、聞いていて楽しくて仕方がない◆まず語る時の目が違う。節くれ立った手と身振りが隠し味となり「あのな」「それでな」と始まる話に花を添える◆「野菜は足音を聞いて育つ」「畑には癖がある」「わが家で作ってはいけない野菜、作らなくてはいけない野菜がある」など◆品評会に出品された優等生の3本のダイコンの影には、納屋にうずたかく積まれた普通のダイコンがあるという話には涙が出る◆イチローが引退した。飽くなき技術の探求と徹底した体の管理で4367本の安打を重ねた◆自己の道を極めるといふ点においてイチローもプロ農業者も同様だ。爪の垢を煎じて飲んでも足下にもおよばない◆誰しもが衰える。だが良い農産物を作りたいという気持ちは永久に持つことができる

農業委員会活動の積極的推進に

関する決議要旨

第60回農業委員会・農業者大会において「農業委員会活動の積極的推進に関する決議」を決定しました。

本決議は、農業委員会のさらなる積極的な活動に向け決定したものです。

なお、本決議をもとに、通常総会において「2019年度農業委員会活動推進要領」を決定しました。

主な内容は左記のとおり。
農業委員会活動の積極的推進に関する決議（趣旨）

都内の生産緑地は、全面積の8割以上が2022年に指定告示より30年目を迎え、特定生産緑地制度は、指定告示より30年を経過すると指定ができない制度であることから、生産緑地のある区市農業委員会では「特定生産緑地制度を知らないという生産緑地所有者をひとりもつくらない」活動を進め、あわせて新たな制度である都市農地貸借円滑化法等の周知をはかる。

市街化区域以外においては、制度改正により、農地中間管理事業の対象地域の拡大が見込まれるほか、所有者不

明農地の貸借が可能となったことから、農地制度の一層の周知と活用を進めていくことが重要となっている。

2019年度農業委員会活動推進要領（要旨）

◆農地等の利用の最適化を推進する活動

改正農委法に位置づけられた農地等の利用の最適化を推進する活動に全農委会で取り組む。本活動を進めるにあたり農委会は具体的な取り組みの目標を定め、組織活動および農業委員・農地利用最適化推進委員による地域活動を進める。

①農地利用状況調査の効果的な実施

農業委員および農地利用最適化推進委員は、地域の農地の状況を把握し、管理不十分な農地についてはその要因を確認し、利用促進に向けた活動に取り組む。

②改正生産緑地法等への対応をはかる（市街化区域）

農地等（市街化区域以外）に取組む（市街化区域以外）

農地等の利用の最適化を推進するため、認定農業者や認

定就農者をはじめとする担い手および新規就農希望者等に農地を積極的にあつ旋し、農業経営基盤強化促進法および農地中間管理事業法による権利設定を進め、農地の利用促進をはかる。

1. 重点活動

①「特定生産緑地制度を知らないという生産緑地所有者をひとりもつくらない」活動を進める

2019年度は、特定生産緑地制度のみならず都市農地貸借円滑化法等の周知と理解を進めていく活動が不可欠であり、市街化区域以外では農地流動化の制度をより一層浸透させていくことが必要であることから、制度説明会および座談会、農業委員会だより等による情報活動に積極的に取り組む。

③農業者の意見集約と関係行政機関等への意見の提出

農業委員会法38条に規定する意見提出活動の重要性を鑑み、農業者の意見を集約し、行政機関等に対して積極的に意見の提出を行う。

2. 統一活動

◆農業委員会組織活動

農業委員会による担い手の

育成や農業経営支援、ならびに農業と市民との架け橋活動等が農地等の利用の最適化の推進につながることから、左記の活動について農業委員会組織活動として取り組む。

①担い手の育成と農業経営支援活動（項目）

農業経営・農地利用計画作成運動の推進
認定農業者制度の推進および支援活動

農業経営支援活動の実施
家族経営協定の推進

農業者年金の加入推進活動
農業と市民との架け橋活動

市民や教育・福祉と連携した活動に取り組む。

◆農業委員・農地利用最適化推進委員日常活動（項目）

農業委員および農地利用最適化推進委員の地域活動が組織の原動力となることから、日常活動において地域を見回り行動し記録する左記の活動等に取り組む。

①地域の農地の肥培管理と利用促進

②活動記録カードの積極的活用

③地域の農業者の支援活動

④地域農業の確立に向けた連携活動

⑤情報収集・情報発信活動の推進

「理事会・常設審議委員会だより」

第10回常設審議委員会

1月17日南新宿ビルにて開催し①12月の転用許可状況②中間管理機構事業の状況③農地保全・利用促進対策について報告協議した。

理事会

2月14日南新宿ビルにて開催し、第124回通常総会の開催日時・場所および提出する7議案を決定した。

第11回常設審議委員会

理事会後開催し①農地法第5条の農委会会長諮問案件を決定。②1月の転用許可状況の報告、③農業委員・推進委員活動記録推進要領を決定した。

理事会

3月19日第124回通常総会に続き開催し①参与の委嘱②記念冊子の作成について決定した。

第12回常設審議委員会

理事会に続き開催し①2月の転用許可状況を報告し②中間管理機構事業方針を決定しました。

東京農業の確立に関する要望 都市農業の振興と都市農地保全に関する要望 東京都農業施策に関する意見

第60回東京都農業委員会・農業者大会で決定した国への要望（「東京農業の確立に関する要望」・「都市農業の振興と都市農地保全に関する要望」）ならびに、都農業会議の第124回通常総会で決定した「2020年度東京都農業施策に関する意見」の要約は左記のとおりです。

国への要望Ⅰ

東京農業の確立に関する要望

1. 農家の所得確保と担い手の育成・支援対策の確立
- (1) 所得確保対策の確立
- (2) 認定農業者の支援
- (3) 農業後継者の育成・支援
- (4) 農業改良普及事業の強化
2. 地域農業の振興
- (1) 農業振興地域の支援
- (2) 山村・離島振興
- (3) 小規模な基盤整備の推進
- (4) 農地譲渡特例措置の対象地域の拡大と控除額の増額
3. 国内産業と国民の暮らしを守る国際交渉
4. 畜産経営に対する支援
- (1) 畜産経営への支援の強化

国への要望Ⅱ

都市農業の振興と都市農地保全に関する要望

- (2) 畜舎用地を農地扱いとする農地法改正
5. 食の安全・安心の確保と地産地消の促進
- (1) 地産地消の推進
- (2) 東京農業の魅力の発信
- (3) 適正な農産物価格形成
- (4) 学校教育との連携の促進
6. 有害鳥獣対策の強化
7. 動植物防疫体制の強化
- (1) ウメ輪紋ウイルス対策
- (2) 家畜の防疫体制の強化
8. 税制等に関する要望
- (1) 消費税免税事業者が不利にならないための措置
- (2) 青色申告控除額引き上げ
9. 農業委員会組織の強化
10. 物納農地の管理徹底
11. 国有農地の早期解消

国への要望Ⅲ

施設等を認める措置

- (3) 相続税等納税猶予制度の一部免除規定の創設
- (4) 収用等による譲渡の際の利子税軽減措置の恒常化
- (5) 生前に農地の一部分を贈与する制度の創設
- (6) 収用の譲渡所得税の改正
- (7) 低利融資の対象の拡大
4. 改正生産緑地制度への対応と都市農地保全対策の強化
- (1) 生産緑地買取りへの支援
- (2) 30年経過後にも指定を可能にする制度改正
- (3) 生産緑地を購入した場合の税制の特例
- (4) あっせん開始時期見直した生産緑地地区指定の変更
- (5) 営農環境の悪化に対応した生産緑地地区指定の適正化
5. 相続財産評価の適正化
- (1) 物納を認める制度改善
- (2) 小規模宅地等特例の拡充
- (3) 農地所有適格法人が取得する農地評価の適正化
6. 都市住民と共生する農業経営への支援強化と体制整備
- (1) 都市農業の課題への支援
- (2) 防災機能強化への支援
- (3) 環境に配慮した農業推進
- (4) 給食の地場産利用の促進
- (5) 食農教育の推進
- (6) 農地が無い地域における農産物の販売促進

国への要望Ⅳ

2020年度東京都農業施策に関する意見

- (7) 6次産業化や農商工連携
- (8) 援農ボランティアの育成
7. 農業委員会の組織強化
1. 多様な担い手の確保
- (1) 認定農業者への支援強化
- (2) 農業後継者の確保対策
- (3) 新規就農者への支援強化
- (4) 認定農業者を目指す農家に対する支援施策の確立
- (5) 女性農業者の育成とネットワークの構築
2. 担い手の経営力強化支援
- (1) 補助事業の拡充と要件等の見直し
- (2) 農業改良普及事業の強化
- (3) 畜産経営の支援
- (4) 花・植木の需要の創出
- (5) 6次産業化や農商工連携
3. 地域の特色をいかした農業の支援
- (1) 農業振興地域に対する独自支援策の構築
- (2) 島しょ農業の振興
- (3) 基盤整備の促進
4. 都市農地の保全
- (1) 生産緑地制度の啓発に向けた取組と体制の強化
- (2) 都市農地の確保
- (3) 生産緑地の貸借を円滑に進めるための事業の創設

国への要望Ⅴ

都市環境に適應するための基盤整備事業の強化

- (4) 都市環境に適應するための基盤整備事業の強化
- (5) 防災に資する農業用施設等の整備に対する支援
5. 農地の遊休化を防止する対策の確立
- (1) 遊休農地の発生防止と解消の支援
- (2) 物納農地等の管理改善
6. 東京産農産物の魅力の発信と需要の開拓
- (1) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京産農産物の需要の開拓
- (2) 安全・安心な食料の供給
7. 都民の期待に応え、ともに育てる農業の推進
- (1) 環境保全型農業への支援
- (2) 優良堆肥の確保
- (3) 学校給食における地場産農産物利用の促進
- (4) 食農教育の推進
- (5) 農地が無い地域における都内産農産物の販売促進
8. 防疫体制等の強化
- (1) ウメ輪紋ウイルス対策
- (2) 家畜の防疫体制の強化
9. 有害鳥獣対策の強化
10. 農業委員会系統組織の支援強化

なお、要望や意見の全文は東京都農業会議のホームページでご覧いただけます。
(<http://www.tokaiagi.com/>)

受賞者芳名(敬称略)

第58回企業の農業経営顕彰受賞者

1. 東京都農業会議会長賞

野菜部門 萩野顕治(世田谷区) ▼福田賢一郎(世田谷区) ▼安藤初雄(杉並区)

▼木村博之(板橋区) ▼榎本多良・悦子(練馬区) ▼穂

穂戸田稔(葛飾区) ▼浅岡博行・康子(江戸川区) ▼

平川幸志郎・あかね(大田区) ▼村野正(福生市) ▼門倉

義則(八王子市) ▼石川雅千・美保(町田市) ▼鈴木晴雄・

恵利子(日野市) ▼上原健次・文枝(稲城市) ▼鈴木良平(立

川市) ▼指田守昭(昭島市) ▼石森教靖(調布市) ▼井

上雅義(調布市) ▼横山喜和(小金井市) ▼小野義雄・

久枝(小平市) ▼宮寺宏志・幸代(小平市) ▼神山文夫・

房子(国分寺市) ▼富岡誠一(西東京市) ▼栗原繁・

静枝(狛江市) ▼岩田高雄・裕子(東大和市) ▼坂間勝(清

瀬市) ▼篠宮泰則(東久留米市) ▼千葉英彬・ケイ子(八

丈町) ▼花き部門 榎本守伸・雅子(足立区) ▼中島浩志・映代(羽村市)

植木部門 浦野隆司(世田

谷区) ▼岩渕仁司・恵子(小平市) ▼内藤隆(杉並区)

▼長坂賢克・雅子(稲城市) ▼岡本泰一(三鷹市)

▼特用作物部門 栗原宏二(瑞穂町)

▼畜産部門 福嶋誠一郎(日の出町)

▼複合部門 橋本和夫(あきる野市) ▼榎本功(武蔵野市)

▼松村一夫(府中市) ▼集団活動の部 三鷹市畜産研究会(三鷹市)

2. 東京都産業労働局長賞

野菜部門 鈴木晴雄・恵利子(日野市) ▼鈴木良平(立

川市) ▼石森教靖(調布市) ▼植木部門 浦野隆司(世田

谷区) ▼複合部門 橋本和夫(あきる野市) ▼榎本功(武蔵野市)

▼松村一夫(府中市) ▼集団活動の部 三鷹市畜産研究会(三鷹市)

3. 全国農業会議所会長賞

野菜部門 穂戸田稔(葛飾区) ▼浅岡博行・康子(江

戸川区) ▼平川幸志郎・あかね(大田区) ▼村野正(福

生市) ▼門倉義則(八王子市) ▼上原健次・文枝(稲城市)

▼指田守昭(昭島市) ▼井上雅義(調布市) ▼富岡誠一(西東京市)

果樹部門 内藤隆(杉並区) ▼特用作物部門 栗原宏二(瑞穂町)

▼畜産部門 福嶋誠一郎(日の出町)

4. 東京都知事賞

野菜部門 横山喜和(小金井市) ▼小野義雄・久枝(小平

市) ▼岩田高雄・裕子(東大和市) ▼坂間勝(清瀬市)

▼篠宮泰則(東久留米市) ▼千葉英彬・ケイ子(八丈町)

▼花き部門 榎本守伸・雅子(足立区)

▼果樹部門 長坂賢克・雅子(稲城市)

第38回農業後継者顕彰受賞者

1. 東京都農業会議会長賞

山下武志(練馬区) ▼門倉周史(江戸川区) ▼森田藤紀(瑞穂町) ▼馬場貴之(日の出町) ▼平智之(八王子市)

▼井上健史(町田市) ▼山下潤一(町田市) ▼太田盛久(多摩市) ▼川崎達郎(稲城市)

▼川野将宏・麻衣(立川市) ▼坂本涼平(武蔵野市) ▼板橋竜一(三鷹市) ▼吉野均・麻衣子(三鷹市) ▼澤井政善(府中市) ▼井上泰男(昭島市) ▼荒井俊一(調布市)

▼田中秀和(調布市) ▼川村武司・あずさ(小平市) ▼丹生秀樹(小平市) ▼志村浩之・奈穂子(東村山市) ▼間野暁人(東村山市) ▼田倉輝久(国分寺市) ▼三上訓弘(国分寺市) ▼遠藤充・嘉(国立市) ▼高橋秀明(清瀬市)

2. 東京都知事賞

門倉周史(江戸川区) ▼澤井政善(府中市) ▼荒井俊一(調布市) ▼川村武司・あずさ(小平市) ▼小川憲一郎(狛江市) ▼横山和子(東久留米市)

第45回農業委員会等功労者表彰者

1. 東京都農業会議会長表彰 農業委員会 吉川庄衛(町田市) 農業委員 山下譽(八丈町) 農業功労者感謝状 農業功労者 粕谷久義(世田谷区) ▼木下克博(杉並区) ▼稲垣和男(板橋区) ▼篠田

一雄(練馬区) ▼中田文雄(足立区) ▼志田實(葛飾区) ▼中代幸一(江戸川区) ▼岡田音次郎(目黒区) ▼須崎昭(青梅市) ▼石川篤之(福生市) ▼網代賢治郎(あきる野市) ▼新井光(羽村市) ▼吉岡康(瑞穂町) ▼原島英夫(日の出町) ▼馬場信幸(八王子市) ▼馬場弘明(日野市) ▼増田米次郎(多摩市) ▼須崎雅義(立川市) ▼高橋健一(武蔵野市) ▼浅野文雄(三鷹市) ▼内海善行(府中市) ▼大野豊樹(昭島市) ▼谷戸一郎(調布市) ▼杉山利男(小金井市) ▼竹内房子(小平市) ▼大久保正利(東村山市) ▼榎戸新一(国分寺市) ▼佐藤ハツ(国立市) ▼濱野喜美江(西東京市) ▼石黒實(狛江市) ▼峯岸芳司(武蔵村山市) ▼竹内寅雄(東大和市) ▼田中新一(清瀬市) ▼篠宮優(東久留米市)

2. 東京都知事賞

門倉周史(江戸川区) ▼澤井政善(府中市) ▼荒井俊一(調布市) ▼川村武司・あずさ(小平市) ▼小川憲一郎(狛江市) ▼横山和子(東久留米市)

3. 東京都農業会議会長感謝状

農業委員会等職員 河野裕宣(世田谷区) ▼池田明子(世田谷区) ▼出口耕太郎(江戸川区) ▼英晃史郎(青梅市) ▼西川和延(武蔵野市) ▼金川智亜樹(八丈町) ▼牛島康博(小笠原村) ▼安藤武史(小笠原村)

平成31(2019)年度 主要行事日程

平成31年3月8日現在

月	旬	農 業 会 議	会議等出席者・会場	そ の 他
31年 (2019) 4月	中	農業委員会職員基礎研修会 (12(金)) 常設審議委員会 (17(水))	職員 新宿 常設審議委員 新宿	全国情報会議(11(木))
	下	都市農地制度基礎研修会 (26(金))	職員 新宿	
5月	中	会長職務代理者研究集会 (15(水)) 監査会 (16(木)) 理事会/常設審議委員会 (17(金)) 農業者年金担当者会議 (22(水))	職務代理・職員 新宿 監事 新宿 理事/常設審議委員 新宿 職員 新宿	都職研総会・役員会 (24(金)) 島しょ協議会総会 (27(月)) 全国会長大会 (27(月))
	下	農地中間管理事業担当者会議/ 農地貸借・新規就農担当者会議 (23(木)) 認定農業者等担い手支援会議/主任職員協議会 (24(金))	該当職員 新宿 該当職員 新宿 職員/職員 新宿	
6月	上	相続税納税猶予制度実務研究会 (3(月)) 生産緑地法制度研究会 (10(月))	職員 新宿 職員 新宿	島しょ地区農業委員会・ 農業者大会 (13(木)~14(金)) 東京都農業経営者クラブ 総会 (14(金)) 武蔵境
	中 下	農業振興地域フォーラム (13(木)) 通常総会/事業推進協議会 (21(金)) / 常設審議委員会 (21(金)) 夏季地区別検討会 (北南17(月)、北北24(月)、 北西27(木))	該当委員・職員 未定 普通会员/ 常設審議委員 新宿 会長・職代・職員 新宿	
7月	上	夏季地区別検討会 (区1(月)、西3(水)、南5(金))	会長・職代・職員 新宿	
	中 下	広報研究会 (10(水)) 理事会/常設審議委員会 (17(水)) 農地台帳システム研究会 (19(金)) 農地専門職員研修会 (25(木)~26(金)) 農業委員研修 (区31(水))	担当委員・職員 新宿 理事/常設審議委員 職員 職員 新宿 農業委員・職員	
8月	上	農業委員・推進委員研修 (南2(金)、西7(水) 北8(木)府中)	農業委員・推進委員・職員	都職研全体研究集会・役 員会 (30(金))
	下	臨時総会/理事会 (21(水)) / 常設審議委員会 (21(水)) 農地中間管理事業担当者会議 (29(木)) 農地貸借・新規就農担当者会議 (29(木)) 認定農業者等担い手支援会議 (30(金)) / 主任職員協議会 (30(金))	普通会员/理事/ 常設審議委員 該当職員 新宿 該当職員 職員/ 職員 新宿	
9月	上	農業委員会職員現地研究会 (13(金))	職員 新宿	
	中 下	常設審議委員会 (17(火)) 農地部会長研究集会 (26(木))	常設審議委員 新宿 農地部会長・職員	
10月	中	経営部会長研究集会 (10(木)) 常設審議委員会 (17(木)) 女性農業委員等研修会 (18(金))	経営部会長・職員 新宿 常設審議委員 女性農業委員等・職員	農委会職員全国研究会 (16(水))：大阪府
	下	会長現地研究会 (29(火)~30(水))：三重県	会長・職員	
11月	中	監査会 (12(火)) 事業推進協議会/常設審議委員会 (18(月))	監事 新宿 普通会员/常設審議委員 新宿 職員 新宿	全国農委会長代表者集会 (28(木))
	下	地区別職員検討会 (島しょ19(火)) 農業者年金制度推進研究会 (20(水)) 農業委員会活動推進フォーラム (29(金))	職員 新宿 推進員・職員 新宿 農委代表・職員 府中	
12月	上	地区別職員検討会 (西2(月)、南3(火)、区6(金)、 北西9(月)、北北11(水)、北南16(月))	職員	
	中	常設審議委員会 (17(火)) 農地流動化・利用集積現地研究会 (18(水))	常設審議委員 新宿 農業委員・推進委員・職員	
32年 (2020) 1月	中	常設審議委員会 (17(金))	常設審議委員 新宿	
	下	冬季地区別検討会(区9(木)、島しょ14(火)新宿、西16(木) 南20(月)、北北22(水)、北南24(金)、北西27(月)) 組織・活動検討会 (30(木))	会長・職代・職員 地区協ほか 新宿	
2月	上	農業委員会活動研究会 (3(月)) 組織・活動検討会 (6(木))	該当職員(*) 新宿 地区協ほか 新宿	
	中 下	理事会/常設審議委員会/大会運営 (14(金)) 第61回農業委員会・農業者大会 (20(木))	理事/常設審議委員 新宿 農委・職員ほか 昭島	
3月	上	主任職員協議会 (6(金))	職員 新宿	都職研役員会 (6(金))
	中	通常総会/常設審議委員会 (17(火))	普通会员/常設審議委員 新宿	

* 地区協＝地区協議会・連合会正副会長 * 新宿＝JA東京南新宿ビル、府中＝府中市生涯学習センター

上記日程につきましては、変更する場合がありますのでお含み下さい

立川市で農委会会長情報連絡自主研修会を開く

農委会長30人が参加



30人の農委会長が参加し情報交換をした

都農業会議は、3月7日に立川グランドホテルにて農業委員会会長情報連絡自主研修会を開き、30人の農業委員長が出席しました。

この研修会は、農委会の代表者が意見を持ち寄り情報交換することを目的とし、今回で4回目の開催となります。まず、ひとり3分程度で地域の農業の状況などをふまえながら、農業委員長として日頃考えていることについて問題提起がされました。情報交換では「青年農業者の農地への執着心、農業生産への意欲が低下しているのではないか」など今後の都市農業を心配する声がある一方で「若い農業者の経営意欲を伸

ばすような制度改正も必要」「自主的な組織への支援でやる気や意欲を喚起するべき」という都市農政への期待を感じさせる意見が出されました。そのほか、市民へ農業委員会活動をPRする活動、議員との見学会・勉強会などの活動が報告されました。

日の出町・羽村市で先進的な施設栽培を見学

施設野菜経営見学会開く

都農業会議は、3月15日に東京都農業経営者クラブとの共催で、日の出町と羽村市において施設野菜経営見学会を開き、都内の農業者など45人が参加しました。

はじめに、日の出町の馬場敏明さんのキュウリ等の施設栽培を見学しました。馬場さんは後継者とともに、3月11月にかけて共同直売所にキュウリを出荷しており、温度管理などの栽培技術について活発に意見が交わされました。

続いて、約25アールの施設で土耕によるトマトを生産し、共同直売所へ周年出荷をしている日の出町の野口隆昭さんの圃場を見学しました。7月に定植し、10月3月まで収穫が続いてきた中玉トマトを試食した参加者は、糖度の高さに驚いていました。次に、羽村市の中野峰雄さ



東京都GAP認証取得について説明する日の出町の野口隆昭さんの後継者、雅範さん

このセミナーは、女性農業者を対象として、都市農地に関わる相続税納税猶予制度や生産緑地制度といった農地制度や税制について、理解を深めるための機会として開き、都内の女性農業者など30人が参加しました。

のイチゴの施設栽培を見学しました。イチゴの苗作りの施設では「イチゴは経費と手間がかかる。苗を購入せず自分で育成できるかどうか重要」と話す中野さんに、栽培技術などについて、参加者から多数の質問が寄せられました。参加者からは「貴重な生産現場や培った知識や技術を見せてもらい、勉強になった」と見学先の農業者への感謝の声が聞かれました。

女性農業者に農地制度や税制などについての理解の促進を

女性農業者セミナー開く

都農業会議と東京都農業経営者クラブは、3月13日にぎなんネットとの共催により、JA東京南新宿ビルにおいて女性農業者セミナーを開きました。

このセミナーは、女性農業者を対象として、都市農地に関わる相続税納税猶予制度や生産緑地制度といった農地制度や税制について、理解を深めるための機会として開き、都内の女性農業者など30人が参加しました。



グループに分かれフリートークをする参加者

その後、フリートークとして参加者を6〜7人毎のグループに分け、情報交換を行いました。「農業経営に関わる重要な法制度について理解が深まった」と話す参加者も多く、今後もこうした説明会の開催を求める意見もありました。

退職者からのひとこと

昭和54年4月1日より満40年間お世話になりました。多くの「農業を愛し、真剣に取り組む」農業者と、地域の農業行政に取り組む農業委員会職員の方々に出会い、様々なことを教えて頂きました。心から感謝を申し上げます。(北沢俊春)

3年間の短い間でしたが、お世話になりました。農の雇用事業を中心に事業を行わせていただき、東京都内の意欲的な農家の皆様に支えられながら、なんとか無事にこなせることができました。ありがとうございました。(朝長信次)